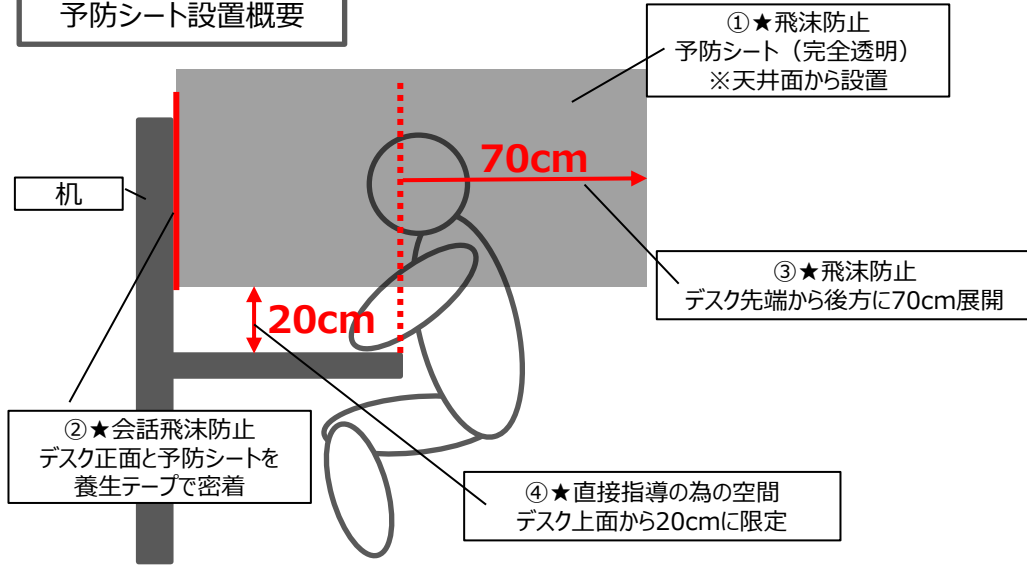


..... 既存設置の予防シート  
 ——— 6月以降追加予防シート

- ◆通常は1ブースあたり講師1名：生徒2名ですが、感染防止徹底のため1ブースに生徒1名着席を原則とし、講師1名は背中合わせになった各ブースをその都度行き来する形をとります。
- ◆講師と生徒の間には感染予防シートをあらたに設置し、講義中の飛沫拡散を防止します（右記参照）。
- ◆対面講義がご心配の方向けに、引き続き教室入口窓際にオンライン専用ブースを設置します。
- ◆通常8ブース稼働できる教室ですが、感染予防の観点から稼働ブースを半減いたします。また、オンラインブースについても1ブースに縮小いたします。つきましては、ブース数の都合により授業時間の変更をお願いする場合がありますこと、予めご了承ください。

個別ブースの  
 予防シート設置概要



- ①★飛沫防止  
 予防シート（完全透明）  
 ※天井面から設置
- ②★会話飛沫防止  
 デスク正面と予防シートを  
 養生テープで密着
- ③★飛沫防止  
 デスク先端から後方に70cm展開
- ④★直接指導の為の空間  
 デスク上面から20cmに限定

- ①★授業中におけるマスクの着用は必須とさせていただきますが、その上で徹底した飛沫防止の観点から、厚さ0.05mmの透明ビニールシートを予防シートとして講師と生徒の間に設置します。完全に透明のシートの為、表情などをしっかりと確認しながらの授業が可能です。
- ②★机に向かう講師や生徒前からの飛沫を防ぐため、机前面とシートの隙間を養生テープでふさぎます。
- ③★ブース人数を削減するとは講師と生徒が隣り合う状況には変わりないため、講師と生徒間を予防シートで遮り、講義中に向き合った場合においても、万が一の飛沫を防ぎます。
- ④★宿題や課題の添削を行う上で、直接指導は不可欠です。机上部に展開される予防シートは20cmほどの隙間を設け、この隙間を介して課題や宿題などの直接添削を行います。

<授業終了後の消毒手順 ※消毒液について>

◆消毒液には厚労省から新型コロナウイルス殺菌に有効として周知されている「次亜塩素酸ナトリウム」を含有する塩素系漂白剤希釈液を使用します。尚、希釈濃度については花王株式会社HPIにて公開されている公式情報を基に厳密に濃度を守った上で実施します。

<授業終了後の消毒手順>

- ◆授業コマが終了の都度、上記の消毒液を使い消毒作業を実施します。
- ◆霧状になった次亜塩素酸ナトリウムは吸い込むと体に有害なためスプレーは使用いたしません。
- ◆使い捨て布巾に消毒液をその都度染み込ませ、講師・生徒が触れた部分を備品も含めて除菌します。
- ◆次亜塩素酸消毒液でふき取った部分は、改めて使い捨ての布巾にて水拭きを行い、消毒液を残さないように徹底します。
- ◆授業コマ終了毎、この消毒作業を丁寧に実施するため、次コマの授業開始時間に多少のずれが生じることが想定されますが、感染予防徹底のための作業となりますので何卒ご理解ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。